

さがしてみよう・見てみよう!

薬王院周辺は暖温帯林の代表的な常緑広葉樹のスタジイの巨木が残っている所です。中腹は落葉広葉樹のコナラやイヌシデなどの雑木林や常緑針葉樹のスギやヒノキなどの植林になっています。また筑波山自然研究路の合流点から山頂付近は冷温帯林の代表的な落葉広葉樹のブナやミズナラになっています。異なる自然環境(標高、岩石、土壌、光、水分、温度など)とそこに生活する生き物の違いを見てみましょう。

1. 秋をいろどるうつくしい花たち (筑波山周辺)

日が短くなり木々が色づき始める頃の花をさがしてみましよう。



2. 筑波山をつくる花崗岩と斑れい岩

筑波山は花崗岩と斑れい岩という2種類の深成岩(マグマが地下で固まってきた岩石)のかたまりが隆起し、風雨で侵食されて残されてきた山です。

薬王院周辺から鬼ヶ作林道の合流点までの大地は、白っぽい花崗岩からできています(写真1、4)。

鬼ヶ作林道を横切った先からは、登山道が急傾斜になります。この付近から山頂部までは、硬くて黒っぽい斑れい岩からできています。長い階段を登っていくと、その正面に斑れい岩からなる石壁や巨岩が見られます(写真2、3)。

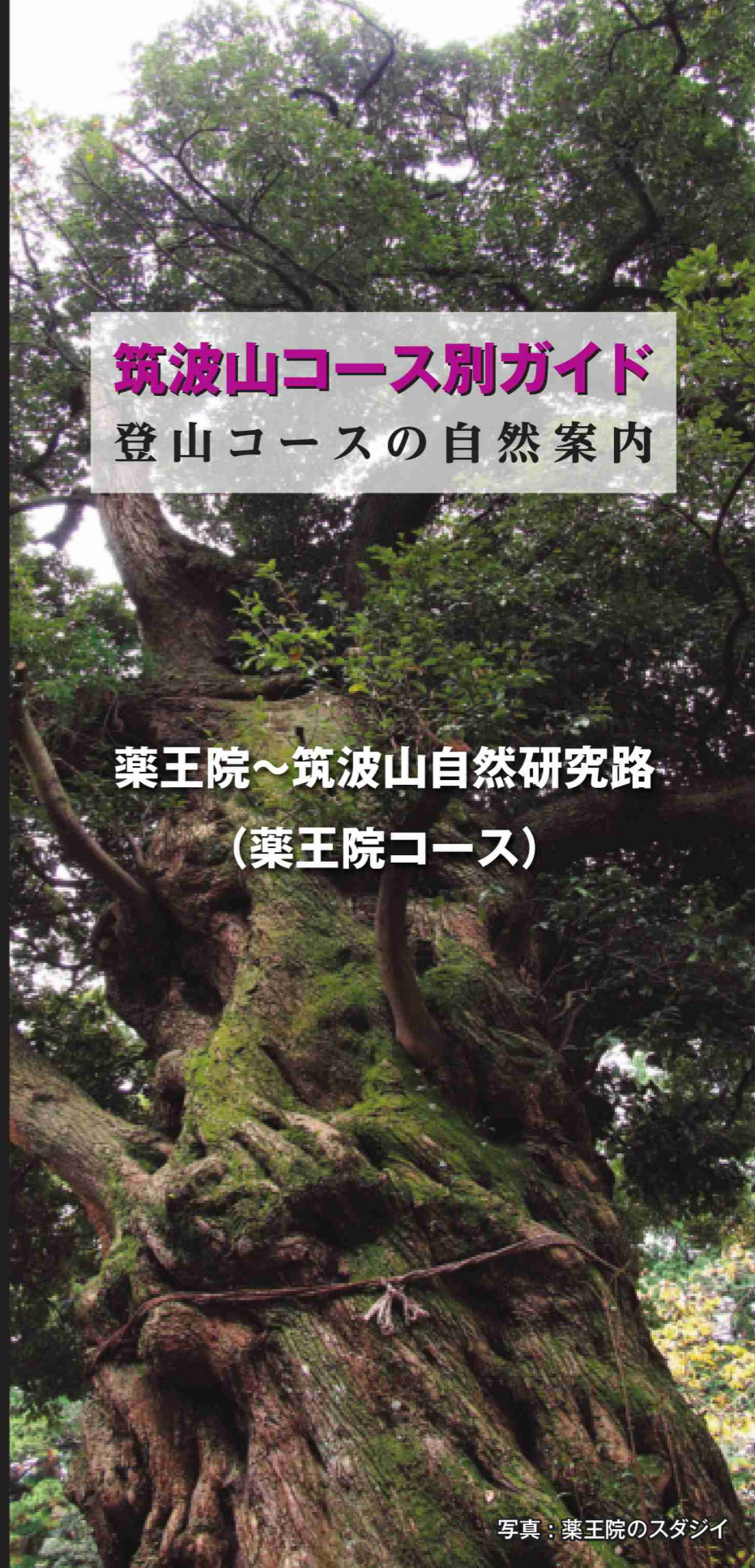


3. 雌雄異株(しゆういしゆ)の木 (筑波山周辺)

雌雄別株ともよべれます。株ごとに雌雄にわかれているので実がなる株と実がならない株があります。見てみましょう。



4. カラフルな野鳥たち



筑波山コース別ガイド 登山コースの自然案内

薬王院～筑波山自然研究路 (薬王院コース)

写真：薬王院のスタジイ